

令和3年度第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 定12

千葉県立匝瑳高等学校 定時制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	個人面接、評価者2名、検査時間：1名20分
(3) 作文	字数：600字以内、検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔165点満点〕

アの数値にエ、オ、カについて加点（上限30点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数字で評価する。未評価の教科が1教科でもある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	いずれかの学年で、年間30日以上欠席があれば、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が一つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録	ホームルーム役員（会長・副会長）、生徒会役員（会長・副会長・書記・会計・評議会議長・その他）などを務めた場合加点（上限10点）する。
オ 部活動の記録	運動系・文化系ともに県大会出場か個人記録優秀者、または吹奏楽コンクール県大会金賞などの成績を残した場合は加点（上限10点）する。
カ 特記事項	各種検定（英検4級・数検4級・漢検4級・ペン字検定4級以上、珠算3級・ワープロ検定3級以上、剣道1級・柔道1級以上）の合格、運動能力証、作文・研究発表などの入賞（県大会以上）、書道の入賞（千葉日報社賞など）などの成績を残したり、ボランティア活動などにおいて特に大きな貢献を果たした場合は加点（上限10点）する。
キ 総合所見	特に優れた内容の記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔50点満点〕

2名の評価者が次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）、b（標準的である）、c（問題がある）の3段階で評価する。aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各25点満点）を合計し、得点とする。c評価が1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活全般（授業・部活動・行事等）に対し、明確な目標を持つ。
ウ 勤労等への意欲	就業・ボランティア・家事手伝い、あるいは自習に励み、3年間での卒業を目指すなど、日中の時間を有効に使う意欲がある。
エ 自己の客観視	自身の長所・短所などを客観的に理解し、問題解決のため前向きに努力している。
オ 身だしなみと態度	服装・髪型などの身だしなみが整えられ、基本的な面接作法が身につけている。

(3) 作文〔90点満点〕

3名の評価者が次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）、b（標準的である）、c（問題がある）の3段階で評価する。aを10点、bを6点、cを2点とし、3名の評価者の評価（各30点満点）を合計し、得点とする。c評価が1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 表現力	テーマに即した内容で、自己の考えが明瞭に表現されている。
イ 文章作成能力	誤字、脱字等がなく、言葉遣いを含め、表現が適切である。そして、300字以上600字以内に収まっている。
ウ 関心、意欲	テーマに対して、強い関心や意欲を持っている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点		当日の検査の得点		総得点
評定 (K=1)	加点	面接	作文	
135点	30点	50点	90点	305点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。